

いしかりの財政状況

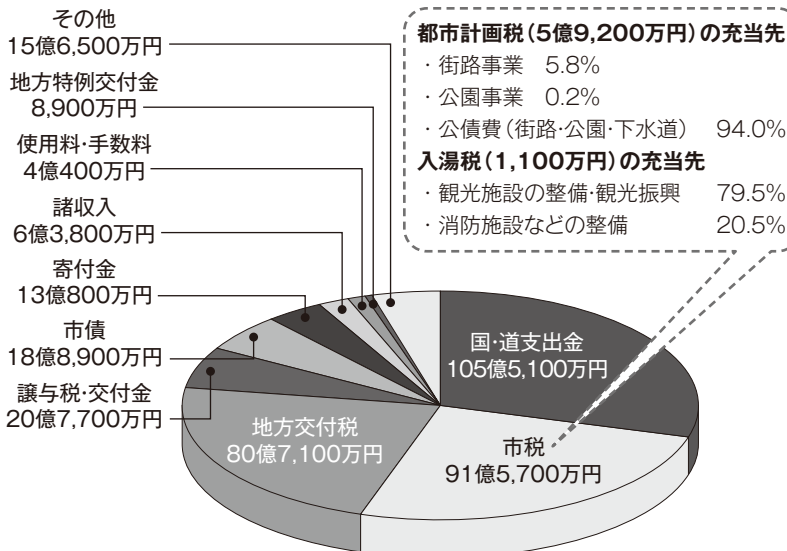
令和4年度 一般会計の決算

歳入総額 357億4,900万円

※前年度 353億7,300万円 (前年度比 1.1%増加)

Point

- **国・道支出金** 前年度比 **4億7,700万円減少**
住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金給付事業費補助金や感染防止対策協力支援金事業費補助金の減などにより減少しました。
- **市 税** 前年度比 **1億9,000万円増加**
石狩湾新港地域における設備投資や納税義務者数、住宅需要の増などにより増加しました。
- **寄 付 金** 前年度比 **6億8,700万円増加**
ふるさと応援寄付金の増により、増加しました。



都市計画税(5億9,200万円)の充当先

- ・街路事業 5.8%
- ・公園事業 0.2%
- ・公債費(街路・公園・下水道) 94.0%

入湯税(1,100万円)の充当先

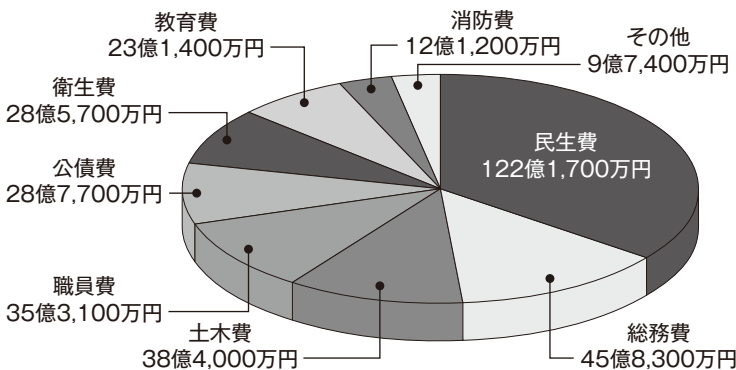
- ・観光施設の整備・観光振興 79.5%
- ・消防施設などの整備 20.5%

歳出総額 344億500万円

※前年度 347億3,700万円 (前年度比 1.0%減少)

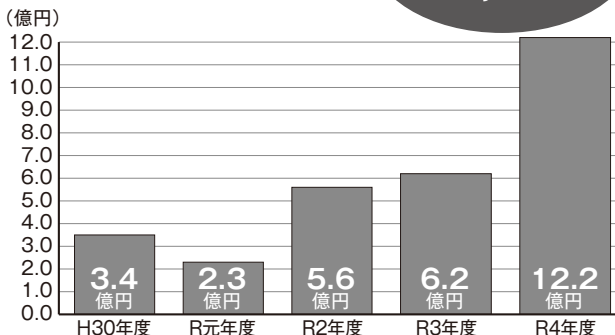
Point

- **民 生 費** 前年度比 **7億7,600万円減少**
子育て世帯への臨時特別給付金事業費の減などにより、減少しました。
- **土 木 費** 前年度比 **3億7,900万円減少**
道路橋りょう維持費の減などにより、減少しました。
- **教 育 費** 前年度比 **4億2,000万円増加**
中学校施設整備事業費や物価高騰による教育関係施設管理運営費の増などにより、増加しました。



各年度の実質的な収支

令和4年度
実質収支
12億1,700万円



※各年度の収支額は、翌年度への繰越分を控除しています (令和4年度から令和5年度への繰越額は1億2,800万円)

性質別に見た歳出

義務的経費(人件費・扶助費・公債費)では、職員の期末手当引き下げや新型コロナウイルス感染症関連事業の縮小に伴う会計年度任用職員の減により人件費が減少したほか、扶助費では子育て世帯や住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金事業費が減少したことにより、前年度に比べ総額で10億2,800万円減少しました。

また、道路や建物の整備など、資本形成のための支出である投資的経費では、水素戦略推進事業費や川下・柏木地区集会所施設整備事業費の減などにより、前年度に比べ総額で1億4,500万円減少しました。

毎年の決算を分かりやすく紹介した市HP「石狩市の財政」もご覧ください



令和4年度 市債・一時借入金の現在高と1人当たりの負担額

区分	市債残高	1人当たりの負担額
一 般 会 計	298億8,000万円	約52万円
特 別 会 計	3億1,400万円	約 1万円
企 業 会 計	133億7,200万円	約23万円

一般会計 一時借入金は「なし」

※一時借入金とは支出額に対して資金不足が見込まれる場合の一時的な借り入れのこと

市では毎年、6月と12月に予算や決算の状況をお知らせしています。
今回は、令和4年度の決算内容や健全化判断比率、令和5年度予算の
上半期執行状況をお知らせします。*金額は概数としています

市HP
「財政資料室(予算・決算)」
でもご覧いただけます

令和4年度 特別会計の決算

特別会計区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	65億9,400万円	65億4,900万円	4,500万円
国民健康保険診療所	1億8,600万円	1億7,400万円	1,200万円
後期高齢者医療	9億6,700万円	9億5,400万円	1,300万円
介護保険	55億3,500万円	51億5,800万円	3億7,700万円
介護サービス	2億7,100万円	2億6,600万円	500万円
個別排水処理施設整備	3,800万円	3,800万円	0円

令和4年度 企業会計の決算

水道事業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	19億9,500万円	19億7,300万円	2,200万円
資本的収支	7億1,000万円	12億4,200万円	△5億3,200万円

公共下水道事業会計	収入額	支出額	収入支出差引額
収益的収支	14億8,500万円	14億3,300万円	5,200万円
資本的収支	6億1,000万円	11億6,800万円	△5億5,800万円

*収益的収支:企業の経営活動のための収支/資本的収支:施設整備や建設改良のための収支

*収益的収支は税込みで記載

令和4年度 健全化判断比率

前年度に引き続き
早期健全化基準をクリア

指標	石狩市の健全化判断比率 ()は前年度数値	早期健全化基準 (イエローカード)	再生基準 (レッドカード)	全道平均	順位 (全道35市中)
実質赤字比率	該当なし(該当なし)	12.61%	20%	—	—
連結実質赤字比率	該当なし(該当なし)	17.61%	30%	—	—
実質公債費比率	6.8%(6.8%)	25%	35%	7.0%	10位
将来負担比率	44.8%(51.6%)	350%	—	18.8%	19位

令和5年度 予算の上半期執行状況

一般会計

歳入歳出予算額	執行率(歳入)	執行率(歳出)
367億1,000万円	50.8%	64.2%

企業会計

区分	収益的収支		資本的収支	
	収入額	支出額	収入額	支出額
水道	9億2,100万円	4億4,000万円	3億9,300万円	5億9,600万円
公共下水道	7億2,300万円	2億2,500万円	2億4,600万円	2億1,900万円

特別会計

区分	歳入歳出 予算額	執行率 (歳入)	執行率 (歳出)
国民健康保険	66億6,600万円	36.9%	40.1%
国民健康保険診療所	1億9,500万円	54.2%	47.2%
後期高齢者医療	10億1,200万円	35.9%	34.5%
介護保険	58億600万円	51.4%	40.9%
介護サービス	2億8,900万円	50.3%	94.1%
個別排水処理施設整備	6,700万円	29.6%	43.9%